

◇ ダイヤモンドエレクトリックホールディングス株式会社

グループの技術力を融合して V2G に邁進

——車と家をものづくりでつなぐ技術開発

ここに注目!

- ◇ 多様な背景を持つ仲間達が活躍できる環境づくり
- ◇ グループの力を One Team として高みを目指す

ダイヤモンドエレクトリックホールディングスの中核会社である、ダイヤモンド電機で技術本部開発部 開発 1 課（東京）に所属するゲン・ズィ・トックさんは、車載部品の制御ソフトウェア（ファームウェア）の開発を担う。デバッグなどを繰り返し、要求仕様通りに実行するかを確認するのが主な仕事だ。

近年、温暖化対策をはじめ世界のエネルギー問題を背景に、電気自動車（EV）へのシフトが進みつつある。一方で、家庭や事業所の IoT（Internet of Things）化も急速に進展している。IoT 技術を生かし、EV と地域電力網を接続して電力を相互供給する「V2G（Vehicle to Grid）」の実現が、ゲンさんが所属する開発チームの最終目標だ。

V2G では、EV を乗り物としてだけでなく、社会インフラの 1 つとして捉える。EV の蓄電池の電力を放電し、需給バランスを調整することで電力の平準化や省電力化を図る。太陽光による発電が行われる日中は EV が余剰電力を蓄え、電力需要が高まる夕方以降に電力を放出して天候や気温の影響を受けやすい再生可能エネルギーの活用を促進させる狙いもある。

「非接触で電力を受け渡してできる双方向充電器や小型の電力変換機器などの開発に関わっています。環境負荷の低減や効率的なエネルギー利用に貢献したい」。ゲンさんはこう意気込む。

両社の強みを組み合わせ、技術力を向上

ダイヤモンド電機は 1937 年

に創業。それまで輸入品に頼っていた自動車用点火コイルを初めて国産化した。現在、点火コイルなど自動車用電装品のほか、エアコンや給湯器向けの電子制御機器などを製造する。2019 年 1 月にはトランス（変圧器）やパワーコンディショナー（パワコン）を製造する田淵電機をグループ会社化した。

パワコンはインバーターの一種で、太陽光発電システムでつくった「直流」の電気を、家庭内で使用できる「交流」に変換する装置。ダイヤモンド電機は小型化や絶縁など電装品製造で培ってきた技術を有しており、田淵電機のパワコン関連技術と組み合わせることで EV 向けの双方向充電器や電力変換機器の開発を進めている。同時に、ここ数年は国籍や年齢、性別



▲ダイヤモンドエレクトリックグループが扱う製品の一例。マルチ点火コイル（左）、絶縁双方向充電システム（中央）、住宅用蓄電池ハイブリッドシステム EIBS7（右）

を問わず、優秀なエンジニアを積極的に採用し、技術力の底上げも図ってきた。両社の経営トップを務める小野有理社長は「それぞれがナンバーワンを目指し、さらに強みを持ち寄せればオンリーワン企業になれる」と期待を寄せる。

ゲンさんは母国ベトナムのハノイ工科大学の出身。台湾の国立台湾科技大学大学院で学んだ後、2016 年にベトナム田淵電機に入社。2019 年にダイヤモンド電機に移籍し、現在の業務に従事している。

「行動を起こさなければ経験が得られないという気持ちで日本企業に飛び込みました。戸惑いや不安があったら、ここにはいないでしょう」。入社当時の強い決意をこう振り返るとともに、日本

で技術を習得しようとする意志が伝わる。

異国での「冒険」とそれを支える「環境」を通じて成長

ゲンさんは、職場ではパソコン画面に向かって黙々と作業をこなす毎日。日本語を話せないのが、その克服に向け努力をしている。

上司は新潟県に在住し、在宅勤務をしており、月に 1～2 回、東京オフィスに出社するが、それ以外は基本的にメールや WEB 会議で指示を受けたり、問題があれば報告をしたりしている。「上司はいつも私をサポートしてくれる。同僚も経験豊富な人が多く、アドバイスもたくさんもらっている」と、周囲への感謝を忘れない。

ゲンさんは日本での仕事や生活を「冒険」と表現する。日々、稀有な出来事に遭遇し、挑戦することを繰り返しているからであろう。「ここ（日本）で経験を積み、知見を広げ、さらに自分自身を成長させたいです」。さらに冒険を重ね、前進しようとする意志をこう語ってくれた。

ダイヤモンドエレクトリックグループは、「多面的に輝き働く仲間たち、多様な背景を持つ人材それぞれを大事にする環境づくりを行っている。例えば海外からの人材に関しては、日常生活の困りごとの支援に加え、日本文化を体験するイベントの開催や語学のフォローアップなどの仕組みを整えている。

INTERVIEW

わが社の魅力を語る

代表取締役社長 CEO
小野 有理さん



輝き疾走する仲間達との再生物語

独禁法の影響で苦しんでいたダイヤモンド電機の再生を創業家の懇請を受け 2016 年に社長を引き受けました。人員削減は一切行わず冗長費撲滅等経費削減の徹底によって 2018 年 3 月期最高益を更新、再生を果たしました。

私は社員を従業員と呼ばず「仲間達」と呼びます。2018 年には倒産目前であった田淵電機を救済し「仲間化」、

二社同時再生に取り組みながら、公器として永続する企業を目指し、生存最適規模である売上高 1,000 億円を掲げた「Diamond Shine Again 2021」に挑戦しています。多面体に輝くダイヤモンド電機の仲間達、多様に色柄織り成す田淵電機の仲間達みんな、ものづくりを通じて人々が幸せになるべくがんばっています。

会社 DATA

本社所在地：大阪市淀川区塚本 1-15-27

設立：2018 年 10 月 代表者：代表取締役社長 CEO 兼 グループ CEO 小野 有理

資本金：1 億 2,000 万円 従業員数：4,681 名（グループ連結）

事業内容：自動車機器事業、電子制御機器事業及び附帯関連する一切の事業を行う子会社等の経営管理及びそれに附帯又は関連する業務

URL：https://www.diaelec-hd.co.jp/



▲ファームウェアの開発を担うゲンさん。現在の業務にやりがいを感じている